

## 審判上の確認事項

1. 本大会は2022年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則、及び2022年度（公財）日本中体連バレーボール競技部における6人制ルールの取り扱いに則って行う。
2. 試合間はすべて5分間の合同練習の後、プロトコールに入る。公式練習は3分ずつ、合同の場合は6分間とする。
3. 監督は、ベンチのスコアラーズテーブルに最も近い席に位置する。
4. タイムアウトを要求できるのは、監督のみである。なお、要求する場合は、ハンドシグナルを明確に示すこと。
5. 選手交代は、クイックサブスティテューションとする。
6. リベロプレーヤーの交代については、バックゾーンのサイドライン上で一旦静止し、双方片手を上げて速やかに交代すること。
7. プレーしていない選手はベンチに座っているか、ウォームアップエリアにいないなければならない。ウォームアップエリアでのボールの使用は禁止する。また、ベンチおよびウォームアップエリアではマスクを着用すること。
8. セット間のみ、自チームのフリーゾーンでボールを使用してもよいが、隣のコートに配慮してパス程度とすること。
9. レフェリーや相手チームへの牽制、非スポーツマン的言動は、選手・チームスタッフともに慎まなければならない。レフェリーに質問がある場合はゲームキャプテンのみが行うことができる。
10. ワイピングは、コート上の選手が携帯したタオルで行うこと。柄付きモップによるワイピングは、タイムアウト中とセット間、およびレフェリーが必要と認めた場合のみ行うことができる。
11. 試合はワンボールシステムで行う。
12. 全試合（公財）日本中体連バレーボール競技部における「給水のためのタイムアウト（WTO）」を採用する。

# プロトコール

## 《試合開始前》

試合前	チーム	ファーストレフェリー セカンドレフェリー
	両レフェリーのネット等のチェック時は、ネットを使用せずにウォームアップすることができる。	両レフェリーは、ネットの高さ、張り具合、アンテナの位置およびサイドバンドの位置をチェックする。
11 分前	監督とチームキャプテンは、トスの前に記録用紙にサインする。	両レフェリーは、両チームの監督とチームキャプテンを記録用紙へのサインのため、スコアラーズテーブルに導く。 ファーストレフェリーは、スコアラーズテーブル前で、セカンドレフェリーを立ち会わせてトスを行う。
10 分前	両チームが一緒か、または個別に(サービス権を得たチームから)公式ウォームアップを開始する。 (公式ウォームアップ中はリベロジャケットを着用しない。)	ファーストレフェリーは、公式ウォームアップ開始をホイッスルする。 そして、ボール、記録用紙、ブザー、ユニフォームなどゲームに必要な道具をチェックする。ラインジャッジと打ち合わせを行う。 セカンドレフェリーは、公式ウォームアップの計時を行う。
7 分前	個別に公式ウォームアップを行っている場合は、交替する。	セカンドレフェリーは、各チームが個別に公式ウォームアップを行っている場合は、その交替をホイッスルで合図する。
4 分前	公式ウォームアップを終了し、各チームのメンバーは速やかにベンチに戻る。	ファーストレフェリーは、公式ウォームアップの終了をホイッスルする。
3 分前	全プレーヤーは、エンドライン上に整列する。 (リベロジャケットを着用する場合は、整列時に着用する。) ファーストレフェリーのホイッスルで一礼し、各チームのメンバーはベンチに戻る。 ※感染症対策の為、ネットをはさんでの握手は行わない。 スターティングプレーヤーは、ユニフォーム姿で待機する。	ファーストレフェリーは、両チームのプレーヤーをエンドライン上に導く。 ファーストレフェリーとセカンドレフェリーは、レフェリースタンドの前で、ネットをはさんでスコアラーズテーブル側から見て左側にファーストレフェリー、右側にセカンドレフェリーが位置する。 両チームが整列したら、挨拶を交わすようホイッスルする。 レフェリーはそれぞれの定位置につく。
1 分 30 秒前	ファーストレフェリーのホイッスルで、スターティングプレーヤーはベンチから直接コートに入る。	ファーストレフェリーは、ホイッスルでプレーヤーをコート内へ導く。 セカンドレフェリーおよびスコアラはそれぞれスターティングラインアップを照合する。 その後、セカンドレフェリーはボールを最初のサーバーに送る。
0 分前	最初のサーバーは、ファーストレフェリーのサービス許可のホイッスルによりサービスを行う。	ファーストレフェリーは、サービス許可のホイッスルをする。

《セット間》

	チーム	ファーストレフェリー セカンドレフェリー
セット 終了時	セットが終了したら、コート上のプレーヤーはエンドライン上に整列する。 プレーヤーは、ファーストレフェリーのホイッスルで、向かって右側のサイドラインに沿って進み、支柱の外側を通過したら直接それぞれのベンチに戻る。	ファーストレフェリーは、両チームのプレーヤーがエンドライン上に整列したら、コートチェンジするようホイッスルとシグナルで合図する。 セカンドレフェリーは、ボールを保管する。
2分 30秒後	プレーヤーは、セカンドレフェリーのホイッスルにより、ベンチから直接コートに入る。	セカンドレフェリーは、スコアラーの合図を受けて両チームにコートに入るようにホイッスルで合図する。 セカンドレフェリーとスコアラーは、その後直ちに、スターティングラインアップを照合する。 その後、セカンドレフェリーはボールを最初のサーバーに送る。

《最終セットのコートチェンジ》

	チーム	ファーストレフェリー セカンドレフェリー
いずれかの チームが 13点(8 点)目を先 取したとき	コート上のプレーヤーはエンドライン上に整列し、ファーストレフェリーのホイッスルとシグナルで向かって右の支柱の外側をまわりコートを交替する。 ※移動後、WTOに入る。	ファーストレフェリーは、コート上のプレーヤーをエンドライン上に整列させ、コートチェンジするようホイッスルとシグナルで合図する。

《試合終了後》

	チーム	ファーストレフェリー セカンドレフェリー
速やかに	試合が終了したら、全プレーヤーはエンドライン上に整列し、ファーストレフェリーのホイッスルで一礼する。 ※感染症対策の為、ネットをはさんでの握手は行わない。 コート表彰を行う場合は、表彰を行う。 チームキャプテンは記録用紙にサインする。 チームは直ちにベンチから退出する。	ファーストレフェリーは、コート上のプレーヤーをエンドライン上に整列させる。 ファーストレフェリーは、レフェリースタンドを降り、セカンドレフェリーがレフェリースタンド右側の定位置に着いたらホイッスルで、両チームに一礼をさせる。 そして、両チームのチームキャプテンを伴ってスコアラーズテーブルに行き、記録用紙にサインさせ、その後、スコアラーの記録用紙への記入を完成させる。